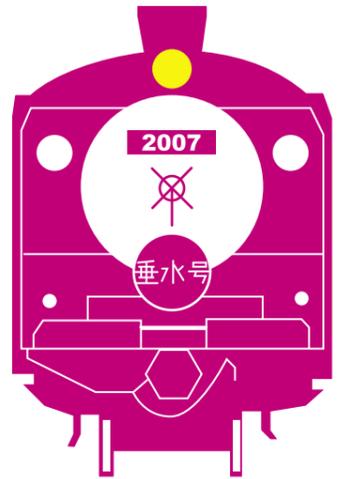


始発駅



今月のテーマ

今月から垂水高等学校連載ページははじめました。 体育祭で見る私たちのまちの高校。

大人の一步手前とも言われている高校生。私たちは、そんな地元の高校に通う彼らのことをどれだけ知っているのでしょうか？
人と人との関係が希薄になつていると言われがちなのに、より多くの人に関心を持ち、接することが大切なことです。特に、これからの垂水市や日本の未来を担う高校生を知ることが重要なことです。市報たるみずでは今月から「私たちのまちの高校を知る」をテーマに「SL 垂水号」と題して連載ページを設けました。これから高校に通う世代も、垂水高校卒業生も、そうでない方も、市報を通じて、より多くの方が

垂水高校のことを知り、垂水高校のことを考えるきっかけづくりができればと思っています。

初回号を迎えるにあたり

今回のこの連載は、垂水市と垂水高校とが手を取り合い、生徒会が中心となつて作成を進めています。初回号の今回は、生徒会と市との数回にわたる打ち合わせの結果、体育祭がテーマとなりました。

市では、今後も高校と協力して生徒の目線でさまざまな角度から高校の今を掲載していきます。



学科は
私たちの高校は、普通科と生活デザイン科があります。普通科は、2年生から進学と情報に分かれます。デザイン科は、家庭科に関する事を多く学べます。



生徒会長 迫田直美

生徒の言葉で!!

デザイン科は

私たちの高校は、県内では唯一の生活デザイン科があり、普段体験できない陶芸や茶道、華道といった専門的な授業があります。毎日いろいろな専門授業があり、とっても楽しい学校生活を送っています。それがデザイン科の特徴です。

普通科は

垂水高校の普通科は、2年生に上がるときに進学コースと情報コースに分かれます。私が学んでいる進学コースは、国語・数学・英語・理科・社会などの勉強が中心です。また、朝課外や模試に取り組む、進学に向けて頑張っています。情報コースでは、沢山の検定を行うなど就職に役立つことを学んでいます。

2大行事

この高校には、大きな行事が2つあります。1つは、体育祭です。体育祭は、学年対抗で競技するのでどの学年も必死です。2つ目は、文化祭です。文化祭では、展示や舞台などがあるのでとても楽しいです。



生徒会副会長 石塚隆博

体育祭の見所

体育祭の見所の1つの部活リレー。今年も白熱しました。男子の部は1位から4位までを野球部が占め、女子の部は接戦の末、バレー部がバスケット部を破り、見事1位を獲得しました。来年も白熱しそうです。



生徒会保健部長 下八重裕輔



生徒会副会長 藤元あずか

生徒会会計 川畑恵里

初の試み創作ダンス

今年初の試みとなった女子の創作ダンス。毎日少ない練習時間で、一生懸命練習しました。思っていたより難しいダンスでしたが、本番は、見事に成功。最高のダンスとなりました。



生徒会図書部長 榎園美香

優勝は3年生

今年の体育祭は、観客が多く、とても盛り上がりました。特に綱引きや最後の学級対抗が盛り上がり、優勝は3年生でしたが、どの学年も頑張っていました。



生徒会美化部長 松尾昂輝

1番の目玉

体育祭で一番の目玉と言えば、やはり最後にある学級対抗リレーです。各クラスから男女5人ずつ選りすぐりの選手たちが女子を先頭に交互にバトンをつないでいきます。クラスの代表が走りますが、選ばれなかった人も一生懸命応援をするので、クラスが一致団結することができとても盛り上がりがあります。



生徒会文化部長 堀添泰平

自分にとって

自分にとって今年の体育祭は、昨年と違って生徒会の体育部長になっており、全体をまとめなければならぬ大変でした。うまくみんなをまとめて、いい体育祭ができるか心配だったけど、みんなが協力してくれたので、いい体育祭になりました。



生徒会体育部長 八木航平

見て聞いて

ページタイトルの決定は全校生徒で!!

このページのタイトルは、生徒会で考えた10数案を6案までに厳選し、その後行った全校生徒投票で一番得票数が多かった「SL 垂水号」となりました。「SL」は、蒸気機関車(SL)と学校生活(School Lifeの頭文字)をかけたもので、高校生活を一つの旅に例えたものです。

垂水高校からのお知らせ

垂水高校の武道場の大規模改修を行うことになりました。市民の皆様にはご迷惑をお掛け致します。近くを通られる際は、お気をつけください。
■工期(予定)
平成19年10月～
平成20年2月